英語E第6回

K19093　福本光重

アメリカでは、ほとんどの仕事の昇給は実力や職務業績に基づいています。これは、あなたがより熱心に働きで、あなたがよりよい仕事をするほど、ますますあなたの給料は高くなり、あなたが受け取るより大きな昇進を意味するようになる。それはあなたが何歳であるか、またはあなたが雇用されている期間は重要ではありません。 このシステムは「能力に基づく昇進」として知られています。これはアメリカの労働者が職場で上に登る主な方法です。日本では、仕事で昇進することは伝統的に年齢や年功序列に基づいていました、つまり、労働者が自分の仕事または地位をどれだけ長く持っているかということです。この「年功序列に基づく昇進」は、仕事に長時間を費やした労働者に、たとえどんなに多くの、あるいはどんなに少ない会社であろうとも報酬を与えます。もちろん、最近の厳しい時代はいくつかの変化をもたらしました。日本企業はますます業績に基づいた、昇給や昇進に切り替えています。どちらのシステムにも賛成と反対の議論がされています。 しかし、私の意見では、実力主義制度はより理にかなっています。一つには、より多くのお金を稼ぎ、昇進する唯一の方法は、あなたのベストを尽くして同僚より上手に仕事をすることであるため、労働者は一生懸命働くことを奨励します。このようなシステムはまた、競争の場を平等にします。年齢、性別、肌の色、または宗教に関係なく、誰もがチャンスを得る機会は平等です。